

2018年1月吉日

学 校 長 殿
英語科教諭 殿
英語教育関係者殿
同友会会員 殿

ELEC 同友会英語教育学会会長 本多 敏幸
ワークショップ実行委員長 木幡 隆宏

教科書著者による小・中・高教科書指導法ワークショップのお知らせ

時下、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ELEC 同友会英語教育学会では、本年度も『教科書著者による小・中・高教科書指導法ワークショップ』を下記の要領で開催いたします。小学校はまだ教科書が出版されていない状況ではありますが、中学・高校セクションの講師は教科書執筆に携わっている先生方です。また、協賛出版社による教科書用の教材や新刊の書籍などの展示や販売も行います。新年度に向け、授業の準備を行う絶好の機会となります。ぜひ、多くの方々にご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 2018年3月25日(日) 9:30~17:20
(9:00より受付開始。受付は一日を通して行います。事前の申し込みは不要です)
2. 場 所 清泉女子大学 2号館3階(受付) ※会場校への問い合わせはご遠慮下さい。
(JR 山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線「五反田」駅から徒歩約10分)
※会場周辺にはレストラン等が少ないので、昼食をご持参ください。
3. 主 催 ELEC 同友会英語教育学会
4. 協 賛 HPにて順次掲載予定(書籍や教材の展示・販売があります)
5. 参加費 [本学会会員] 無料、[一般] 2,000円、[学部学生] 500円
◆当日に入会手続き(年会費5,000円)をされた方は会員として参加できます。会員には同友会主催の各研究会(研修会)への無料または割引での参加、機関紙「ニューズレター」等の配付などの特典があります。
6. 小・中・高別教科書指導法ワークショップ講師
直山木綿子(文部科学省教科調査官) 羽田あずさ(横須賀市立田戸小学校)
幡井理恵(昭和女子大学附属昭和小学校) 本多敏幸(千代田区立九段中等教育学校)
白倉美里(東京学芸大学) 田村岳充(宇都宮大学教育学部附属中学校)
阿野幸一(文教大学) 萩原一郎(神奈川県立鶴見高等学校)
長沼君主(東海大学) 浜野清澄(さいたま市立浦和高等学校)
布村奈緒子(東京都立両国高等学校)
7. シンポジウム
テーマ 「変わる大学入試を見据えて、中高での指導はどうあるべきか」
シンポジスト 土谷匡(千葉市立稲毛高等学校附属中学校)
津久井貴之(お茶の水女子大学附属高等学校)
工藤洋路(玉川大学)
8. 問い合わせ先: 木幡 隆宏 workshop20180325@elecfriends.com
◆今後のプログラム変更や本学会についての情報は ELEC 同友会英語教育学会ホームページをご覧ください。
<http://elecfriends.com/>

9. プログラム (タイトル、講師、発表の順番は変更になることがあります)

(1) 開会のあいさつ (9:30~9:40) 240 教室 会長 本多敏幸 (千代田区立九段中等教育学校)
 総合司会 : 和田朋子 (工学院大学)

(2) ワークショップ (小学校講座①② : 222 教室、小学校講座③④ : 140 教室、中学講座 : 240 教室、高校講座 : 231 教室)

		講師	講座タイトルと内容
講座① 9:45 10:45	小学校	羽田あずさ	「目的をもった言語活動によるコミュニケーション能力の育成」 新教材 We Can! を活用した、コミュニケーションへの意欲を引き出す指導の工夫や小学校における「読むこと」「書くこと」の指導のあり方について考えます。
	中学	本多敏幸	「生徒が選んだ 英語力が身に付いたベスト10の指導・活動」 3年生対象のアンケート調査の結果から、中学校で行った主な30の活動や指導の中で、生徒から「英語力が身に付いた」と認められた10の活動を紹介します。
	高校	萩原一郎	「中学の内容の復習から始める高校英語」 生徒のつまずきにどのように対応しながら高校英語の授業を進めたいかを考えます。中高連携、春休みにしておくことよい準備についてもふれていく予定です。
講座② 10:55 11:55	小学校	幡井理恵	「Receptive skill を Productive skill につなげる指導と評価」 新教材 We Can! をもとに、児童の自己肯定感を育む指導について考えます。学習の過程をしっかりとり、児童の自立性を助ける評価方法についても触れたいと思います。
	中学	臼倉美里	「定着を目指した『教科書再利用』のアイデア」 教科書は様々な情報が載っている教材の宝庫です。教科書を繰り返し使うことで定着させられることができます。模擬授業を交えて私がお奨めする方法を紹介します。
	高校	長沼君主	「形成的評価からつなげるパフォーマンス評価の工夫」 突然のパフォーマンスにならないために、授業中の活動で「できる感」を養いつつ、形成的な評価を取り入れながら、パフォーマンス評価につなげていくための工夫について考えます。
11:55- 13:00		昼休み	協賛企業の展示をご覧ください (230 教室・232 教室)
講座③ 13:00 14:00	小学校	直山木綿子	「新学習指導要領対応外国語教材 “We Can!” (小学校高学年用) について」 4月より小学校の移行期間が始まります。小学校5・6年生を対象にした外国語科の新教材 “We Can! 1” と “We Can! 2” について、その作成の趣旨や内容等を説明いたします。
	中学	田村岳充	「生徒の学びに寄り添った授業改善の工夫」 どのように言語が習得されるのか? 生徒は何を学びたがっているのか? 私が生徒から感じたこと、教えてもらったことを踏まえ、具体的な授業のポイントを紹介します。
	高校	浜野清澄	「ディベートの手法を活かしたスピーキング指導」 帰国生でもない高校生を国際ディベート大会で勝利させた、英語基礎体力をつける指導用法の紹介。「継続的」「段階的」「即興的」な英語運用基礎指導法は、教科書を用いた普通の授業にでも応用ができます。自分の意見を即興的に述べるための段階的な指導方法を紹介いたします。
講座④ 14:10 15:10	小学校	直山木綿子	「“We Can!” を使った指導方法」 “We Can!” を使ってどのように指導したらよいのか、単元を取り上げその具体的な指導方法について模擬授業を交えながら説明いたします。
	中学	阿野幸一	「4技能5領域を統合した教科書の指導」 新学習指導要領で5つの領域の目標や言語活動が示されました。教科書を用いてどのような統合的な言語活動を行ったらよいのか、具体的な例を示したいと思います。
	高校	布村奈緒子	「アクティブ・ラーニングを取り入れた高校の授業展開」 思考をうながす問いの立て方、意見の違いを楽しめる役割の振り方、客観的にクラスメイトを観察する方法等、伝え合う怖さを楽しみに変え、教室を英語で思考・表現する空間にする方法をお伝えします。

(3) シンポジウム (15:30~17:10) 240 教室

テーマ 「変わる大学入試を見据えて、中高での指導はどうあるべきか」

昨今、大学入試改革が教育界の1つの大きな話題になっています。英語については、民間の試験を使って4技能を評価する方法へと移行していく方針が示されています。入試の変化を見据えて、中高での英語の指導はどうあるべきかを議論します。

シンポジスト 土谷匡 (千葉市立稲毛高等学校附属中学校)

津久井貴之 (お茶の水女子大学附属高等学校)

工藤洋路 (玉川大学)

(4) 閉会のあいさつ (17:10~17:20) 240 教室 理事長 金枝岳晴 (東京学芸大学附属竹早中学校)